



特集
世界遺産
「紀伊山地の霊場と参詣道」
の
追加登録に向けて

一昨年、世界遺産登録から10年を迎えた「紀伊山地の霊場と参詣道」。

この世界遺産に、新たに5か所が、追加の登録を検討されています。6月11日、イコモス（ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関）の事前審査では「承認」の勧告を受け、7月10日から20日にかけて行われる世界遺産委員会での正式決定を待つばかりとなりました。

今月は、世界遺産の新たな登録予定地や地域の取組等をご紹介します。皆さんも、新たに登録されるいにしえの場所に出掛けてみませんか。

◎文化振興課文化財係
0739（26）9943
◇観光振興課観光振興係
0739（26）9929

26	22	16	14	08	03	広報田辺 平成28年7月号・もくじ
相談日程	みんなの広場	おしらせボックス	まちの話題	おしらせワイド	特集 「世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」 の追加登録に向けて」	
	子育てクラブ／我が家の愛ドル／たなベスマイル／防災コラム／まちかど特派員／たなベ散歩／図書館へ行こう	市営住宅の入居者を募集します／田辺市文化賞受賞候補者を募集します／おやこ食育教室の参加者を募集します／第25回 大塔地球元気村2016を開催します／再就職準備セミナーを開催します ほか	リオデジャネイロへ向けて／梅の豊作と産地繁栄を願い各地でPR／開館から4年4か月で達成／地域に根付いた野球チームが誕生！ ほか	市政功労者・善行者表彰／行政改革に取り組んでいます／後期高齢者医療保険料について／田辺扇ヶ浜海水浴場開設／第30回弁慶まつり 参加者募集 ほか		

主な電話番号等	
■田辺市役所	〒646-8545 新屋敷町1 ☎ 0739-22-5300 (代) ☎ 0739-22-5310
■市民総合センター	〒646-0028 高雄一丁目23-1 ☎ 0739-26-4900 (代) ☎ 0739-26-4914
■龍神行政局	〒645-0415 龍神村西376 ☎ 0739-78-0111 (代) ☎ 0739-78-0116
■中辺路行政局	〒646-1492 中辺路町栗栖川396-1 ☎ 0739-64-0500 (代) ☎ 0739-64-0966
■大塔行政局	〒646-1192 鮎川2567-1 ☎ 0739-48-0301 (代) ☎ 0739-49-0359
■本宮行政局	〒647-1792 本宮町本宮219 ☎ 0735-42-0070 (代) ☎ 0735-42-0239
■市水道事業所	〒646-0028 高雄三丁目18-1 ☎ 0739-24-0011 (代) ☎ 0739-24-7910
■市ごみ処理場	〒646-0053 元町2291-6 ☎ 0739-24-6218 (代) ☎ 0739-24-4068
電話案内サービス	
■防災行政テレフォンガイド	☎ 0120-963-910
■救急安心センター	☎ #7119

休日急患診療	
場田辺広域休日急患診療所（市民総合センター玄関右側）	
内内科・小児科系、歯科の応急診療	
日時①② 9時～11時30分、13時～16時	
（※小児科のみ、③18時～21時30分も診療を行っています。）	
問 ☎ 0739-26-4909	



追加登録を心持ちに

今月の表紙

今月の表紙は、闘雞神社を見つめる平安衣装を着た女性を撮影しましたが、撮影の日は見事に晴天。太陽の光を浴びる本殿と女性の姿がとても印象的でした。

マークの説明	
回…日付・期間	冠…定員
時…時間	料…料金・費用
休…休館日	持…持ち物
場…場所	申…申込み・申請方法
集…集合	問…問合せ
内…内容	[消印]…消印有効
対…対象・参加資格等	[先着]…先着順

◇㊦マークには、振替休日等も含まれます。

◇申込み・問合せ等の受付については、基本的に㊦㊦を除く8時30分～17時15分です。

◇料金の記載のないものは、無料です。

◇申込み方法の記載のないものは、申込み不要です。

◇市役所の開庁時間は、㊦を除く㊦～㊦の8時30分～17時15分です。毎週㊦は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。

ツイッター・フェイスブックでも市の情報を発信しています。

☐ <http://www.city.tanabe.lg.jp/jyouhou/sns.html>



市街地の東に鎮座し、祭神は伊邪那美命をはじめとする熊野十二神。古くから「権現さん」と呼ばれて親しまれており、また、勝負運の神様としてもご利益があるといわれています。

社殿は、この地方によく見られる特色を備え、紀伊半島南部における寺社建築を考える上でも重要な建築物です。境内地は、近世以来の景観を残しているほか、社殿背後の飯庵山には12世紀末から13世紀はじめにかけて経塚が造られました。神社に残る美術工芸品、祭礼である田辺祭も含め、それら全てに高い文化財的価値があります。



追加登録までの経緯

平成16年7月、『紀伊山地の霊場と参詣道』が世界遺産に登録されました。世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』は、修験道の拠点である「吉野・大峯」、熊野信仰の中心地である「熊野三山」、真言密教の根本道場である「高野山」の三霊場とそれらを結ぶ参詣道、そしてその周囲を取り巻く「文化的景観」からなる資産で、495.3haの広大な地域です。

しかし、熊野参詣道には、世界遺産に登録されていない区間があり、その中にも文化財的価値が高い遺跡がありました。そこで、和歌山県では、平成22年度から参詣道及び王子跡の調査等を実施し、追加登録の条件となる国の文化財指定を目指しました。平成27年10月7日に、北郡越、長尾坂、潮見峠越、赤木越、闘雞神社の5か所が国の史跡に指定されたことから、世界遺産の追加登録に向け、手続等を進めてきました。

つまり、史跡熊野参詣道を本来あるべき姿で世界遺産として登録することが、世界遺産の追加登録なのです。



湯峯温泉から本宮町久保野地区の東側の尾根筋を北西に進み、三越峠に至る約8.5kmの古道です。近世紀行文中に数多く記述が残されるように、参詣道として重要な位置を占めてきました。道沿いの石の道標や地藏石仏は江戸時代のものですが、久保野に残る安政2年(1855年)の道標は、この地方には珍しい指差道標です。地獄坂付近には、近世末と考えられる石畳・石段が残されています。三越峠付近一帯の道が、大規模な崩落等により失われていますが、献上茶屋付近から湯峯温泉までの尾根道は良好に残されています。



潮見峠越ルートのうち、捻木峠から潮見峠に至る古道です。安珍を追って真砂からここまで来た清姫が、悔しさのあまり念力で木をねじ曲げたという伝説のある捻木の杉や、役行者の石像が残されているほか、捻木峠から潮見峠までの区間は、植林地内に地道が良好に残っています。また、潮見峠は、本宮からの旅行者にとって最初に海を望む景勝地であり、「西国三十三所名所図会」にも往時の様子を伝える鳥瞰図が挿入されたように、その景観は名勝的な意味合いがあります。



熊野参詣道「中辺路」の潮見峠越ルート(三栖方面から左会津川を上って潮見峠を経由し、中辺路町栗栖川に至る)のうち、上三栖から長野の水ヶ峠に至る約16町の坂道です。長尾坂のうち、上三栖から長野の長尾に至る区間は、一部に近世の石畳が残されているほか、歴史の道保存整備事業により石畳道の復元整備が行われています。坂の途中には、和歌山より21里の一里塚の跡や果樹畑の間を縫うように土道が残されています。



熊野三山への参詣道として最も頻繁に利用された経路である「中辺路」のうち、大塔地区の鮎川から富田川沿いに中辺路北郡を経て滝尻に至る古道です。道沿いには、青面金剛像の庚申塔をはじめ、阿弥陀如来像の日待供養塔や道祖神、地藏石仏等、江戸時代以降の石造物が残されているほか、後白河法皇の前世の髑髏が沈んでいたと伝えられる念仏淵や法皇の頓宮の伝承地が残されています。富田川は、熊野参詣の際に水垢離をする神聖な川で、熊野御幸が盛んな頃には幾度も川を渡り、水垢離を行ったといわれています。

田辺の玄関口から熊野本宮大社までをつなぎ 地域の活性化に



田辺市世界遺産登録推進協議会
会長 橘 一郎さん

私たちは、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産に、新たに「闘雞神社」「北郡越」「長尾坂」「潮見峠越」「赤木越」の登録を目指してきました。

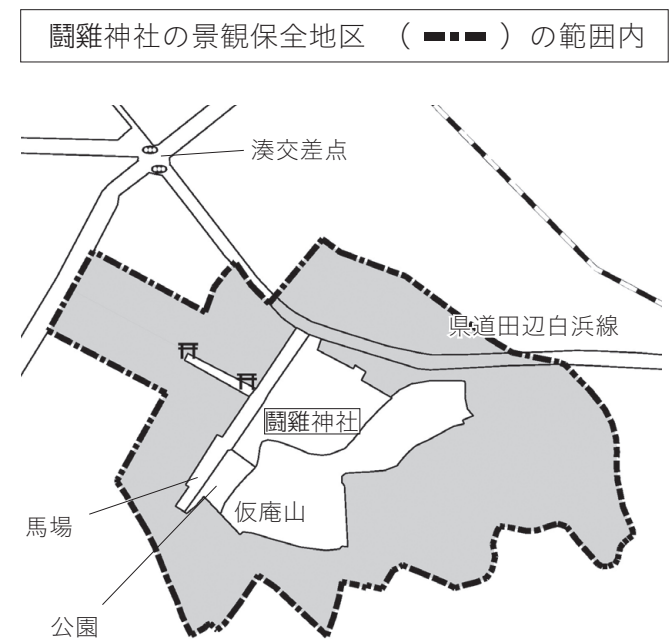
市内各種団体が構成する本協議会では、今年2月の発足からこれまで、世界遺産の追加登録に向けて、講演会の開催や各種イベントでの広報活動などを展開し、世界遺産登録についての認識を市民の皆さんに深めていただくとともに、世界遺産追加登録の機運を高める取組を進めてきました。

特に、闘雞神社が追加登録されれば、初めて街なかに世界遺産ができることとなります。また、田辺の玄関口から熊野本宮大社までがつながることからも、大変意義深いものであるとともに、地域活性化への大きなきっかけになるものと考えています。

今後も、追加登録を記念したのぼりや横断幕、啓発グッズを作成し、引き続き、広く市民の皆さんに世界遺産追加登録の周知を図ってまいります。

追加登録が与える 地域への影響

世界遺産は登録資産（世界遺産の本体）と緩衝地帯（バッファゾーン）で構成されており、市では、世界遺産追加登録に先立ち、平成28年4月1日から、熊野参詣道中辺路（北郡越、長尾坂、潮見峠越、赤木越）及び大辺路（闘雞神社）の周辺を景観保全地区に指定しました。



バッファゾーンとは

登録資産とその周辺の文化的景観を保全するために設けられた範囲（利用制限区域）のことです。この範囲に建物や看板、その他の工作物等を建てる場合は、一定の基準内に収めていただくことになります。

景観保全地区とは

バッファゾーンを含む、参詣道や社寺周辺の文化的景観の保全と調和を図るため配慮していただく範囲のことです。参詣道は道の両側約50m、闘雞神社の景観保全地区は右図のとおりとなっています。

景観保全地区内において、建築物等の新築・増改築や外壁の塗り替え等を行う場合、屋外広告物を設置又は改修する場合、木竹等の伐採を行う場合には、高さや色彩等を一定の基準に合わせていただくとともに、事前の申請が必要となります。

新しく追加予定地域の地域学習、 語り部活動



配ったり、地域の方からいわれを聞きながら、一緒に長尾坂を歩いたり、様々な面から学習に取り組んでいます。

地域学習を進めていくうちに、子供たちからは「長野は素敵な所」「この良さをもっと伝えたい」などという声が聞かれ、先生方は、「この地域学習は子供たちにとって、大きな実りあるものになっている」と実感されているようです。こうした地域学習は、地域への愛着や誇りを持つことにつながり、将来子供たちが地元を離れることがあっても、友人などにふるさとの話をしたり、自分の子供に語り継いでありしてほしいという願いにもつながります。そうした意味でも世界遺産の追加登録は、学校、子供たち、そして地域にとって、様々な面から地域を学ぶ絶好の機会となるでしょう。

追加登録予定地の長尾坂がある長野地区の長野小学校では、熊野古道を教材とした地域学習を盛んに行っています。今では、語り部学習だけでなくとどまらず、「子供たちにふるさとを大事にしてほしい」という地域の方々の思いもあり、地域ぐるみで学習に励んでいるところ。また、子供たち自身が長野地域の熊野古道を紹介するチラシを作成して地域などに



長野小学校6年生
(写真右から)
寛座マリアさん
芝崎萌果さん

長尾坂には、歴史がたくさんあってびっくりしました。いいところがいっぱいあるのに、知らない人が多いと思います。PR部分は捻木峠です。ここから白浜が一望できるところがいいと思います。長野のことを、もっと多くの人に知ってもらいたいです。

世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」 追加登録記念イベント

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」への追加登録を目指す5か所の候補地の登録をお祝いする記念イベントを催します。

日 7月21日(木)

時 17時(飲食・物販コーナーは16時30分)

場 闘雞神社境内、参道 ほか

内容 記念式典に加え、ステージ上では各地の伝統芸能を紹介し、参道には笠鉦が並ぶほか、飲食・物販や振る舞いコーナーを設けます。是非お越しください。

大塔太鼓



野中の獅子舞



笠鉦

